

兵庫、避難受け入れ検討

井戸知事表明 現地の要望把握へ

熊本、大分両県を中
心に相次ぐ地震につい
て、兵庫県の井戸敏三
知事は18日の定例会見
で、「余震が長く続く

なら、高齢者や障害者
は(地震の)エリアか
ら出た方がいいかもし
れない。広域的な避難
受け入れを検討してい
く」と述べた。被害状
況や現地の要望などを
把握し、必要があれば
県施設などで受け入れ
る準備をするという。

関西広域連合として
は、現地で活動する先
遣隊からの情報などを
基に、被害の大きい市
町村に現地連絡所を設
置して支援チームを送
ることを検討。その上
で、市町村が複数にな
る場合は、構成府県ご
とに対象を決める「カ

ウンターパート方式」
での支援を調整する。
井戸知事は「緊急対
策はやれる支援をどん

JC兵庫 水13トン支援

加古川市から被災地発送

熊本、大分両県を中
心に相次ぐ地震で、日
本青年会議所(JC)
近畿地区兵庫ブロック
協議会は18日、加古川
市から被災地に向けて
水13トンを発送した。

JC九州地区協議会
などから17日に支援物
資の要請を受け、同ブ
ロック協議会は緊急時
における「災害支援ネ
ットワーク」を発動。
兵庫県内の25JCが協
力して水を用意した。
協議会メンバーは、

どんやっっていくことが
大切だ。その中で、専門
家の派遣要請など不足
していることには組織

加古川市内の酒販店な
どで、加古川、豊岡J
Cが買い集めた水を、
龍野JC会員らのトラ
ック2台に積み込ん
だ。19日朝までに集積
地の福岡県へ運ぶとい
う。

同協議会の千住啓介
会長(39)は「阪神・淡
路大震災時には全国か
らトラックに水を積み
込む兵庫ブロック協
議会のメンバーら
18日午後、加古川市
加古川町木村

的に応えたい」と強調。
長期化する可能性のあ
る避難所運営のノウハウ
を伝えるなど、現地

からお世話になり、少し
でも恩返しをしたかつ
た。今後も人や物資を

の必要性に応じ、継続
的に支援していく方針
を示した。
(斉藤正志)

現地に送る態勢を整え
ていく」と語った。
(辰巳直之)

